

2015年度
関西学院大学ロースクール
B日程

一般入試（法学既修者）

商 法 問 題

《10:00～12:00》

○開始の指示があるまで内容を見てはいけません。

【商 法 問 題】

以下の文章を読んで、設問（１）および（２）に答えなさい。

甲株式会社（以下「甲会社」という。）は、資本金7500万円、総資産額5億円の取締役会設置会社である（委員会設置会社ではなく、また取締役の員数は3名である。）。甲会社は、その子会社である乙株式会社（以下「乙会社」という。）がP銀行から5000万円を借り入れるに際して、P銀行から保証するよう求められた。甲会社の代表取締役Aは、このP銀行からの申し入れに対して、独断で、乙会社のP銀行に対する借入金債務を甲会社として保証することを決定し、Aは、甲会社を代表してP銀行との間で保証契約（以下、「本件保証契約」という。）を締結した。本件保証契約の締結に際して、P銀行の担当者からAに対して、本件保証契約の締結に係る取締役会議事録の提出を求められたが、Aは、取締役会議事録を巧妙に偽造して、これをP銀行の担当者に提出した。

しかし、乙会社は約定の返済期日に借入金債務を返済することができなかったことから、P銀行は、甲会社に対して本件保証契約に基づき、5000万円の支払いを求めて訴えを提起した。なお、甲会社の取締役会規程には、甲会社が1件につき1000万円を超える借入れまたは保証をする場合には、取締役会の決議を要する旨の定めがある。また、甲会社と乙会社との間には役員の兼任関係はない。

（１）Aは、甲会社代表取締役として、本来どのような手続きを経て、本件保証契約を締結すべきであったか。理由を付して説明しなさい。

（２）P銀行の訴えは認められるかどうかについて論じなさい。